

当講座で法医解剖されたご遺族の方へ

山口大学大学院医学系研究科法医学講座（以下当講座）では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある故人のご遺族の方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問合せ先にお問い合わせ下さい。

① 研究課題名	山口県内での自殺が疑われる事例において使用された薬毒物の入手方法に関する調査研究		
② 実施予定期間	実施許可日から 2024年3月31日		
③ 対象患者	対象期間中に当講座において法医解剖を実施された方のうち、自殺疑いと判断された方が対象となります。		
④ 対象期間	2017年4月1日～2023年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学大学院医学系研究科		
⑥ 対象診療科	法医学講座		
⑦ 研究責任者	氏名	二宮理紗	所属 山口大学
⑧ 使用する情報等	法医解剖時に収集したデータ（性別、年齢、死亡時期、死因、死因の種類、最終生存・死亡・発見の各日時、検出された薬毒物の種類・量・入手方法、既往歴、自殺念慮の有無、自殺企図歴、遺書の有無、発見された身の回りの物品）を使用します。		
⑨ 研究の概要	<p>日本の自殺者数は2010年以降10年連続で減少しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化した2020年には自殺者数は増加に転じました。自殺手段へのアクセスを制限することは、自殺の予防策の1つとなり得ます。</p> <p>本研究の目的は、法医解剖事例について自殺時に使われる薬毒物の入手方法を調査することです。各事例から必要な情報を抽出し、統計学的手法によって解析します。自殺時に使われる薬毒物の入手方法の特徴・問題点を明らかにすることは、より有効な介入策の検討につながり、自殺防止に寄与すると考えます。</p>		
⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2023年 9月 27日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	法医学講座の研究基盤経費		
⑯ 利益相反	ありません。		
⑰ 問い合わせ先・	山口大学大学院医学系研究科 法医学講座 担当者：二宮理紗		

相談窓口	電話	0836-22-2234	FAX	0836-22-2232
------	----	--------------	-----	--------------